

現状

グリーンアリーナ

有料興行の利用制限によりアーティストのコンサート、大型展示会等で特定日が確保しずらく開催が困難

「広島飛ばし」というワードが聞かれるようになった

新アリーナ実現

グリーンアリーナ + 新アリーナ

多目的に使える体育館と多目的を前提とした新アリーナ
大規模会場が2館あることから興行に制限なく屋内イベント、大型コンサートが可能な限り開催できる。

「広島は飛ばせ(外せ)ない」都市に転化

2 館体制であることによって可能になるイベント展開

1

アーティストコンサートが増える

- ☆広島でのコンサート本数が増える
- ☆県外からの来場者が増える

参考: アリーナ、ドーム、スタジアム等で
単独ライブで動員できるアーティスト
の招聘海外アーティストの招聘など

2

2施設を利用した地域回遊型の
大型音楽フェス、MICE事業(展示会)、
屋内イベントなどが可能になる
☆地域内でのインフラ範囲が広がる
☆県外、国外からの来場者が増える

参考: ※コンサート・展示会
COUNTDOWN JAPAN(千葉県) 5日: 20万人
WILD BUNCH FEST. (山口県) 3日: 8万人(2025年)
ONE PARK FESTIVAL(福井県) 2日: 2万7千人
BARI-SHIP(愛媛県) 3日: 1万9千人

3

広島の地で
異なる大型興行が同時に実施可能になる
☆スポーツ、コンサート、展示会、学会など
異なる興行が同時期開催する
☆個性多様な来場者がある
☆広島が寛容的なイメージになる

グリーンアリーナ	新アリーナ
スポーツ	コンサート
コンサート	展示会
食のイベント	コンサート

【コンサートにおける県外からの来場者】
コンサートでは6割が県外来場者
グリーンアリーナでのコンサート動員平均を6,800と設定
 $6,800 \times 60\% = \text{約}4,000 \text{人}$
☞ 1公演あたり約4,000人の県外客を広島に呼び込んでいることになる

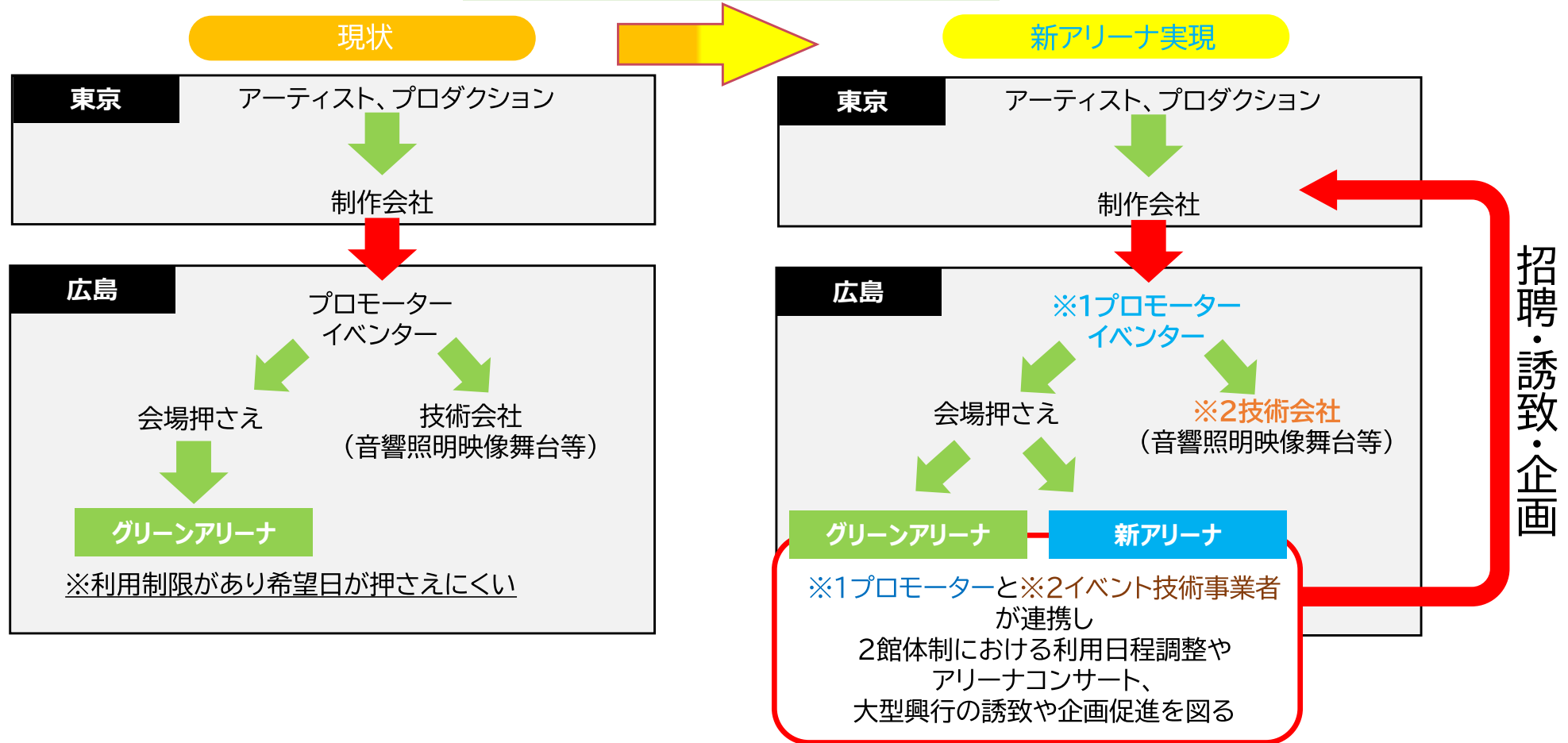
グリーンアリーナ
 $6,800 \text{人} \times 60\% = \text{約}4,000 \text{人}$
新アリーナ
 $10,000 \text{人} \times 60\% = \text{約}6,000 \text{人}$
☞ 1日で約10,000人の県外客を広島に呼び込めることになる

【期待できる経済効果】 交通(移動、輸送)、宿泊、観光、飲食、雇用、若者の関心、誘致活動活発化など

新アリーナは利用用途を広げるだけでなく、2施設が存在することでより経済を押し上げ、存在価値高める

どのように実現していくか

コンサート・イベント業務受注の流れ



**イベンター・プロモート事業者 と イベント技術事業者が連携を図り、
両施設の日程調整や大型コンサート、大型興行の誘致や企画立案を促進していきます**

イベントは同じ目的に集ったものが感情を共有するだけではなく情報の交換や未来を創造する場であり、これは経済だけでなく文化振興に不可欠なものである。新アリーナの実現で広島が平和とともに活力の発信源になるよう進めていきたい。